

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	自転車駐車場改修事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	道路管理課					
施 策	2-4	日常生活での安全性と快適性の確保	主管課長	鈴木 和男					

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内6駅周辺における自転車駐車場登録者	意図	市内6駅における自転車駐車場老朽箇所の修繕及び補修工事。
事業内容	・適切な施設整備を行うことにより、自転車駐車場利用者の安全と快適利用及びその利用促進を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	・市内6駅周辺の自転車駐車場の利用形態に合わせ、施設の新設、撤去及び改修を実施している。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		自転車駐車場撤去箇所数	1				
	自転車駐車場設置箇所数	2		1	箇所		
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・自転車駐車場における施設の破損及び老朽化による修繕工事を実施し、利用者への安全及び利便性を図る。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		20,624,700		4,900,520			
事業費（b）（円）		16,432,500		2,164,320			
うち一般財源		16,432,500		2,164,320			
職員給与費(c)(円)		4,192,200		2,736,200			
人役・職員(人)		0.60		0.30			
人役・再任用(人)				0.20			
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継 続 （事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H27)の改善計画	・自転車駐車場の利用形態に合わせ、必要台数を確保する。	取組の課題	・今後の自転車駐車場の利用形態を踏まえた、必要台数の把握が必要である。
今年度(H27)に実施した取組	・利用者の減少により、初石駅西側第2自転車駐車場を撤去した。 ・地権者の土地利用の意向により、流山駅西側第2自転車駐車場の振替え設置工事を実施した。	今後の改善計画	・自転車駐車場の利用状況を踏まえ、施設を再編する。